Vol.2017-EC-43 No.5
2017/3/10

【招待講演】
声優、アニメに対する日本の非常識、世界の常識

堀川りょう

本招待講演では、ドラゴンボール Z のベジータ役、名探偵コナンの服部平次役など数々の人気アニメ作品で知られる声優の堀川りょう氏に日本を代表するエンターテイメントであるアニメの声優の実態についてお話頂きます。

日本のエンターテイメント業界での声優の地位や知名度は、俳優や歌手、アイドルに対し著しく低く扱われおり、アニメは映画やテレビドラマに比べて子供向けのものであるとされることが少なくありません。また、アニメそのものもカルチャーの扱いでなく、サブカルチャーの扱いを不当に受けています。しかし、世界での評価は全く異なります。世界での日本の声優の地位、知名度は、ハリウッド映画スターに匹敵します。同時に世界では、日本のアニメはハリウッド映画と同等の文化としての評価を受けており、立派な日本のカルチャーとして受け入れられています。既に『アニメ』という単語は日本制作のアニメーションという独自の意味を持つ英語として使われており、日本以外の世界中の人に共通の認識を持たれています。アメリカでは、アニメコンベンションという日本アニメの愛好家のお祭りが年間 400 回も行われており、最大規模の L.A.のアニメエキスポには、6 万人弱の来場者を集めるほどの盛り上がりを見せています。

本講演では、以上のような海外でのアニメ作品の人気の広がりやアニメをとりまく実情を始め、声優になるためのレッスンの方法や、日本人の日本語の聴取や発話の秘密などの知見を共有頂きます。エンターテイメントと科学のコラボレーションを目指す堀川氏が見る日本のアニメの未来についてご講演頂きます。

ⓒ2017 Information Processing Society of Japan